

教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検及び評価報告書
(令和4年度事務事業分)

令和5年11月

羽咋市教育委員会

はじめに

平成18年12月の教育基本法の改正、平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月にいわゆる教育三法が改正されました。これを受け「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

また、第6次羽咋市総合計画（令和3年度～令和12年度）の基本理念「市民共同の誓いである市民憲章を基本理念とする」や、将来都市像「はぐくもう #はくいびと くらしてほっと きてほっと いざ！チャレンジ #HOT羽咋」に基づき、教育に関する基本目標を「歴史をつなぎ、文化を育む ひと・まちづくり」、「希望を持ち、助けあい、活躍できる ひと・まちづくり」、「学びと安心を高め合う ひと・まちづくり」の三本柱を教育の基本方針として取り組んで参りました。

これらを実現するため、教育委員会として、「(1) 歴史と文化の保存と継承、活用」「(2) 文化を育む環境づくり」「(3) 全世代活躍のまちづくりの推進」「(4) 学校教育の充実」「(5) 次世代を担う青少年の育成」「(6) 教養や生きがい、健康維持の土台づくり」の6つの基本施策を設定し、具体的施策として主要事業を展開することで具現化に努めてきました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況や影響を鑑みながら、事業内容の見直しや創意工夫を行うことにより、事業内容の充実に取り組んで参りました。

本報告は、「管理・点検及び評価」を評価委員3名のみなさまにお願いし公表することで、市民のみなさまに対し、行政の説明責任を果たすこと、教育行政に対する理解と信頼性の向上を図ること、質の高い教育を提供していくこと等を目的としています。

今後とも、教育委員会の施策に対し、深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月

羽咋市教育委員会

評価委員所見

令和4年度に羽咋市教育委員会が実施した活動や所管する事務に関しての点検及び評価を行ったので、その結果を報告する。

点検及び評価は教育委員会事務局の3課2室（学校教育課、企画振興室、生涯学習課、国民文化祭推進室、文化財課）が行った49事業について「令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート」の提出を受け、その趣旨、決算額・事業内容・実施状況等について事業担当課のヒアリングを実施し、各事業の内容や効果について確認、把握を行った。

事業分類は令和3年度からの第6次羽咋市総合計画に基づき、「歴史と文化の保存と継承、活用」「文化を育む環境づくり」「全世代活躍のまちづくりの推進」「学校教育の充実」「次世代を担う青少年の育成」「教養や生きがい、健康維持の土台づくり」と、基本施策を定め、それぞれが細分類化されている。

個別事業ごとの評価は、点検・評価シートの委員評価欄に記載したとおりであるが、ここでは点検・評価に当たったの所見を述べたい。

今回で14回目の評価となり、本報告では具体的な事業ごとに点検及び評価を行っており、その事業を行うことの目的・目標をしっかりと設定し、そのためにどのような取り組みを行うのかを明記している。しかし、事業の種類が多く、短期的に効果が見られるもの、一定期間を経ないと事業の真価が分からないものも見受けられる。

また、全事業について統一的に同一の形式により点検及び評価することの適切性や具体的事業の実施状況も勘案しながら、点検及び評価の在り方について再考する必要があると考える。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を取り、事業実施の工夫が見られた。今後も感染症対策に万全を期すとともに、計画的な事業開催の企画・検討を図っていただきたい。

最後に、教育委員会の様々な取組内容が容易にインターネットで見られるように、多様な情報提供がなされている。それをどのように保護者・地域の人が情報を受け取り、どれだけ理解されているかを確認し、市民への広報の充実を図ってほしいと考える。

以上、さらなる向上を目指して、羽咋市ならではの教育活動がますます発展と充実されることを期待する。

令和5年11月20日

評価委員一同

目 次

I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について	1
2 羽咋市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
(1) 点検及び評価の目的	1
(2) 点検及び評価の対象	1
(3) 点検及び評価の実施方法	2
(4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について	2

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員名簿	4
2 教育委員会の開催状況	4
3 その他の主な活動	5

III 点検・評価の結果

1 第6次羽咋市総合計画 基本計画における施策体系	6
2 事務事業の点検・評価の概要	
(1) 歴史と文化の保存と継承、活用	7
(2) 文化を育む環境づくり	9
(3) 全世代活躍のまちづくりの推進	11
(4) 学校教育の充実	13
(5) 次世代を担う青少年の育成	18
(6) 教養や生きがい、健康維持の土台づくり	20

I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地方行政法」という。）が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

羽咋市教育委員会では、地方行政法の規定に沿って、令和4年度中における事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行います。

（1）点検及び評価の目的

点検及び評価は、住民に対する行政の説明責任を果たすことによって教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

（2）点検及び評価の対象

① 対象期間

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

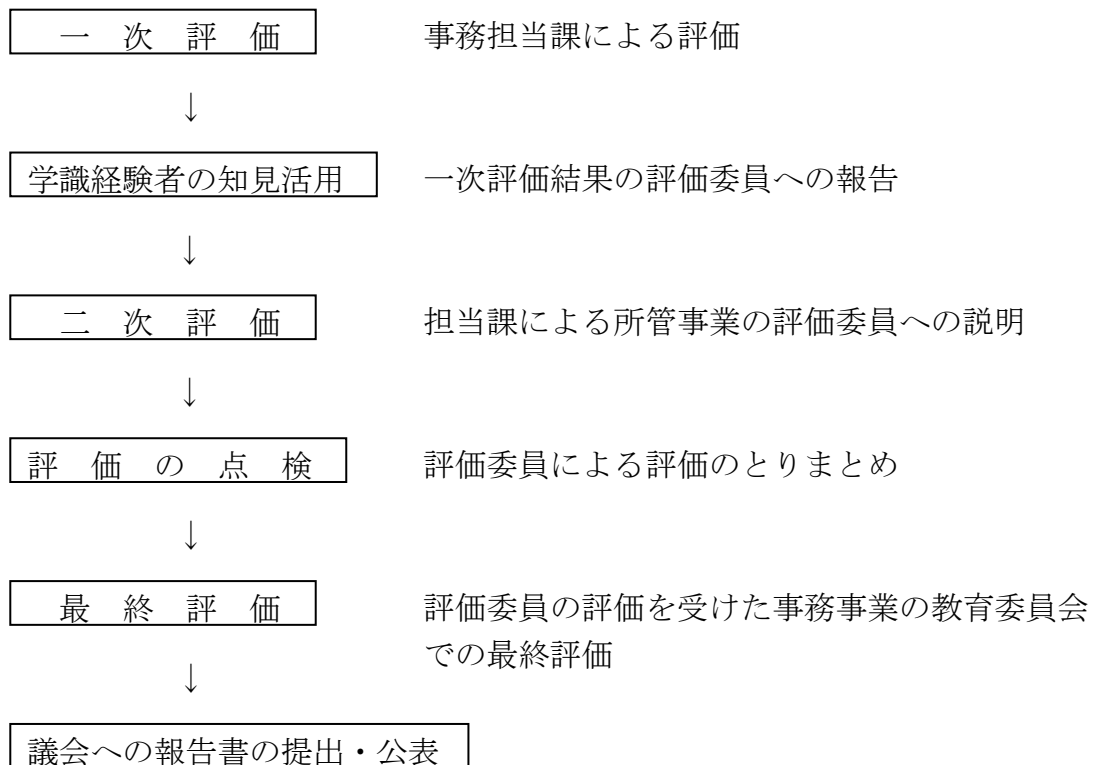
② 対象事務

地方行政法に規定されている教育委員会の権限に属する事務（市長部局において補助執行している事務を含む。）及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

令和3年3月に策定された「第6次羽咋市総合計画」（令和3年度～令和12年度）に掲げる基本目標に基づき「1 歴史と文化の保存と継承、活用」、「2 文化を育む環境づくり」、「3 全世代活躍のまちづくりの推進」、「4 学校教育の充実」、「5 次世代を担う青少年の育成」、「6 教養や生きがい健康維持の土台づくり」の6つの基本施策に伴う事務事業ごとに、令和4年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施します。

点検評価の手順は、次のとおりです。



(4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から評価を受けるため、「評価委員会」を設置し、委員から評価をいただきました。委員は次の方々です。

- | | | |
|--------|----|-----|
| ・元小学校長 | 2名 | |
| ・元市課長 | 1名 | 計3名 |

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、羽咋市教育委員会（以下「委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、法第21条各号の規定に基づき委員会の権限に属する事務として処理する事務事業とする。

(点検及び評価の内容)

第3条 点検及び評価は、前年度の事務事業の進捗状況を総括するとともに、今後の課題や今後の取り組みの方向性を示すものとする。

(評価委員の設置)

第4条 委員会は、点検及び評価の実施にあたり、教育に関し学識経験を有する者を評価委員とし、その知見の活用を図る。

2 評価委員は、教育に関し学識経験を有する者の中から3名を選任し、委員会が委嘱する。

3 評価委員の任期は3年とする。

4 評価委員の報酬及び費用弁償は、特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和49年3月27日条例第2号）の定めるところによる。

(点検及び評価の実施)

第5条 委員会は、毎年度、前年度の対象事務の進捗状況を取りまとめ、評価委員の意見を徴収した上で、点検及び評価を実施する。

(報告等)

第6条 委員会は、前条の点検及び評価の結果に基づき報告書を作成し、羽咋市議会に報告するとともに、ホームページ等により市民へ公表する。

2 前項の報告書の様式は、教育長が別に定める。

(委任)

第7条 この要綱に規定するもののほか、必要な事項は教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員名簿

(令和5年3月31日現在)

教育長	八 島 和 彦	(平成30年 4月11日～令和6年 4月10日、2期目)
教育長職務代理者	今 井 和 秀	(平成26年 7月10日～令和8年10月15日、4期目)
委 員	岡 田 規 子	(令和元年12月21日～令和5年12月20日、1期目)
委 員	西 浦 雅 人	(令和 3年 3月19日～令和6年 6月30日、1期目)
委 員	西 和 美	(令和 3年 4月 1日～令和7年 3月31日、1期目)

2 教育委員会の開催状況

期 日	付 議 案 件 等
第5回 (令和4年5月27日)	(議決事項) 令和4年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について (報告事項) 学校評議員の委嘱について 学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について 羽咋市立公民館運営審議会委員及び分館運営委員会委員の委嘱について スポーツ推進委員の委嘱について
第6回 (令和4年8月22日)	(議決事項) 令和4年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について (報告事項) 社会教育委員の委嘱について
第7回 (令和4年10月16日)	(議決事項) 羽咋市教育委員会教育長職務代理者の指名について
第8回 (令和4年11月22日)	(議決事項) 令和4年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について 羽咋市立学校設置条例の一部改正について 羽咋市立学校通学区域に関する規則の一部改正について 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(令和4年度事業分)について
第1回 (令和5年2月20日)	(議決事項) 令和5年度羽咋市一般会計予算(教育費)について 令和4年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について
第2回 (令和5年3月13日)	(議決事項) 令和5年度羽咋市学校教職員(管理職等)の人事について
第3回 (令和5年3月22日)	(議決事項) 令和5年度羽咋市学校教職員(一般教職員)の人事について
第4回 (令和5年3月24日)	(議決事項) 令和5年度羽咋市教育委員会事務局管理職等の人事について 令和5年度羽咋市教育方針及び主要事業について 羽咋市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について 公民館長の任命について

3 その他の主な活動

時 期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
令和4年 4月	教職員辞令交付式 市立小中学校入学式 石川県市町教育委員会連合会理事会 石川県市町教育委員会教育長会議	羽咋市役所【教育長】 小学校6校、中学校2校【5名】 金沢市庁舎【教育長】 地場産業振興センター【教育長】
5月	石川県市町教育委員会連合会定期総会 地区社会体育大会	金沢市教育プラザ富樫【3名】 【中止】
6月	教育活性化プラン事業説明会 文化財保護審議会	羽咋市役所【5名】 羽咋市役所【教育長】
7月	石川県市町教育委員会連合会理事会 羽咋市民体育大会 千里浜ビーチバレーボール大会	いしかわ総合スポーツセンター【教育長】 【中止】 すぱーく羽咋
8月	石川県スポーツ大会	加賀市【教育長】
10月	石川県市町教育委員会連合会研究大会 市立小学校運動会 学校訪問 市民駅伝祭	珠洲市【4名】 小学校6校【5名】 【教育長】 【教育長】
11月	教育委員会事務の点検・評価委員会 石川県市町教育委員会連合会理事会 石川県市町教育長研修会 公民館研究大会	羽咋市役所【5名】 KKRホテル金沢【教育長】 KKRホテル金沢【教育長】 コスモアイル羽咋【5名】
12月	総合教育会議	羽咋市役所【5名】
令和5年 1月	羽咋市成人式 消防出初式	コスモアイル羽咋【5名】 【教育長】
2月	市教育研究会総会 教育活性化プラン報告会	羽咋市役所【教育長】 羽咋市役所【5名】
3月	市立中学校卒業証書授与式 市立小学校卒業証書授与式	中学校2校【5名】 小学校6校【5名】
通年	羽咋市議会定例会及び臨時会 その他関係方面からの会議・行事出席 依頼による参加	羽咋市議会議場【教育長】

Ⅲ 点検・評価の結果

1 第6次羽咋市総合計画 基本計画における施策体系

■ 教育委員会所管事業あり

基本計画

共創による「ひと・まちづくり」と新技術による市民サービス向上

基本目標

歴史をつなぎ、文化を育む ひと・まちづくり

美しい自然と環境を守り伝える ひと・まちづくり

希望を持ち、助けあい、活躍できる ひと・まちづくり

多彩な交流と賑わいあふれる ひと・まちづくり

学びと安心を高めあおう ひと・まちづくり

施策の大綱

①歴史と文化の保存と継承、活用
②文化を育む環境づくり
①自然と共生する生活環境の保全
②循環を基調とした持続可能な社会形成
③緑豊かな環境づくり
④安全で信頼される上水道の推進
⑤適正で効率的な下水道の推進
①安心して子育てできる環境づくり
②超高齢社会への対応充実
③障がいのある人への支援
④全世代活躍のまちづくりの推進
⑤社会保障制度の維持・充実
⑥地域医療体制の維持・充実
⑦行政サービスの向上と効率的な行財政運営の推進
①農林水産業の振興
②商工業の振興
③まちなかの都市機能の充実による賑わい創出
④雇用の創出と働きやすい環境づくり
⑤多彩な交流の推進
⑥関係・移住・定住人口の拡大
①学校教育の充実
②次世代を担う青少年の育成
③教養や生きがい、健康維持の土台づくり
④消防力の充実と予防措置
⑤地域防災力の強化
⑥交通安全と防犯意識の向上
⑦快適な道路網の整備と管理
⑧良質な住生活の推進

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
<p>施策1 歴史と文化の保存と継承、活用</p>	<p>1 文化財の保護・管理</p>	<p>文化財管理事業</p>	<p>文化財課</p>	<p>羽咋市特有の自然・歴史・文化を物語る指定文化財の保護を図る。</p>	<p>9,308千円</p> <p>1. 指定文化財の保護 ①文化財保護審議会の開催 2回 ②文化財パトロールの実施 4回 ③市指定・未指定文化財確認の実施 1回 ④天然記念物の保護 ・イカリモンハンミョウ生息数調査5～9月 現地解説看板を新規に製作 347千円 ・ホクリクサンショウウオ 卵塊、生息数、生態調査(12～4月) 生息地の保護・環境整備(除草) 増殖池の管理・修繕 ・鹿島路のタブノキ保護事業 土壌エアレーション等の実施 ・羽咋神社のケヤキ保護事業 枯損枝処理、支柱結束直しの実施 ⑤分室の民具・出土品・図書等の全資料を飯山町の新たな収蔵庫「はくい地域産業センター」へ移動 3,960千円 ⑥吉崎次場弥生公園ガイダンス棟雨漏り修繕工事 2,178千円 ⑦吉崎次場弥生公園駐車場外灯修繕 264千円 ⑧国指定重要文化財「妙成寺山水蒔絵机・料紙篋」保存修復事業補助金 249千円</p> <p>2. 埋蔵文化財の保護 ①埋蔵文化財包蔵地の照会 31件 ②寺家遺跡現地仮設看板の設置 ③滝大塚古墳支障木伐採 1,607千円 及び古墳保存・管理と環境整備 ④吉崎・次場弥生公園の管理 ・園内の美化(除草等)、部分補修 ・復元建物等施設の管理(くん蒸等) ⑤市内遺跡出土資料の整理</p>	<p>文化財保護のために定期的な巡回や調査を行い、文化財の現状把握に努め、所有者との連絡・協議を行いながら、保存管理に努め、文化財の活用も図られている。 近年は、異常気象により、激甚災害に襲われることも増え、文化財毀損の可能性も高まっていることから、緊急時における速やかな対応に留意してほしい。 また、保存修理が必要とされる建造物については、関係機関と協議・連携し、計画的に対応することが望ましい。 また、安全管理には特に留意するとともに、市域の文化財の適切な保存管理を実施し、その利活用について、利用者にも満足してもらえるように、羽咋の歴史文化を広めてほしい。 本市は、県内でも有数の文化財を有しており、適切な保護に加えて、児童生徒への教育を含め、一般の方にもわかりやすい形で文化財の魅力を発信していくことも重要な課題の一つであると考ええる。</p>
		<p>寺家遺跡保存整備事業</p>	<p>文化財課</p>	<p>史跡指定を受けた寺家遺跡について、整備基本計画に基づき、必要な発掘調査等を実施しながら、整備を行っている。</p>	<p>1,013千円</p> <p>寺家遺跡保存整備事業</p> <p>1. 大型焼土遺構の自然科学分析調査の実施及び広報資料の作成 2. 寺家遺跡調査指導委員会の開催 1回</p>	<p>寺家遺跡整備基本計画に基づき、必要な発掘調査、学術研究が行われている。 これまでに得られた成果を整理し、必要な調査を実施し、調査指導委員会等からの知見を活かし、史跡整備に向けて、スピード感をもって事業に当たってほしい。 地元の宝である文化財を通じ、地域への愛着や、つながりをより一層深めることに繋げ、市民や関係団体と協力しながら、まちづくりにも積極的な利活用ができるよう整備を目指してほしい。</p>

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
<p>施策1 歴史と文化の保存と継承、活用</p>	<p>2 歴史・文化の調査・研究と継承</p>	<p>文化財調査事業</p>	<p>文化財課</p>	<p>市内の恵まれた文化財群を一体的に保存・活用するため、文化財の現況調査などを実施する。</p>	<p>3,065千円</p> <p>1. ラジオ番組「羽咋歴史物語 妙成寺編」の制作、放送の実施 990千円</p> <p>2. 市内遺跡発掘調査等事業 2,075千円 ①柳田シャコデ廃寺跡発掘調査 出土品の整理及び青銅製品の科学分析 ②検討会の実施 ③羽咋古墳群(八幡神社調査区)の発掘調査 ④柴垣松川たたら跡の調査 ⑤市内遺跡試掘調査 4件</p> <p>3. 市史編纂資料・情報収集と整理 ①写真・フィルム・新聞記事資料の整理と目録作成 ②庁内廃棄文書の確認、行政資料の収集・整理</p>	<p>恵まれた文化財群を一体的に保存活用するための現況調査などは実施している。柳田シャコデ廃寺跡をはじめとする各発掘調査の成果は、報告書や説明会の開催などで広く周知していくことが重要である。地元の宝である文化財の価値を共有し、地域への愛着や、つながりをより一層深めることに繋げてほしい。</p> <p>今後も、積極的にまちづくりに利活用できるよう調査・研究を行い、成果を整理し公開してほしい。</p>
		<p>教育普及事業</p>	<p>文化財課</p>	<p>郷土に関する資料や研究データを活用して歴史民俗資料館や弥生公園を拠点に講座などの事業を展開し、文化財保護や、郷土の歴史・文化の理解を深める。</p>	<p>0千円</p> <p>①展示解説の実施 ・常設展等希望者随時(学校,団体,個人)</p> <p>②主催講座等の開催 ・弥生人講座 8回 244人 ・古文書講座 6回 14人 ・むかしがたり 0回 0人 ・特別講演 0回 0人</p> <p>③郷土学習の支援 ・小中学校(市内外) 12件 355人 ・資料の利用(貸出ほか) 25件 ・窓口相談 25件 ・出前講座 13回 延べ396人</p> <p>④ボランティアの活動支援 ・活動日数延 540日 ・登録者 10人(活動内容6項目)</p> <p>⑤図書頒布 38種</p> <p>⑥研修室の利用 18回 133人</p> <p>⑦博物館実習生受入れ ・2人(8/16~8/24)</p>	<p>他機関と協力して開催している企画展示やボランティアとの協働による古文書資料の整理、自発的な学習会の開催補助など文化財保護の啓発や歴史文化の学習機会の拡充を実施している。</p> <p>市民の協力を得ながら、各種講座や展示内容などの充実に努め、今後も努力してほしい。</p> <p>また、ボランティアとの関わり方とその支援についても引き続き取組んで欲しい。</p> <p>市内外の各学校において、社会科学習・古代体験等がよく行われており、実物資料の見学や体験活動を通じて、郷土の歴史に興味を持つ子どもの増加につなげてほしい。</p>

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
<p>施策1 歴史と文化の保存と継承、活用</p>	<p>3 市民の郷土学習と文化活動の支援</p>	<p>歴史民俗資料館施設運営事業</p>	<p>文化財課</p>	<p>郷土の歴史や文化を継承していくため、市民とともに郷土に関する資料や情報を収集・整理し、保存と活用を図る。</p>	<p>20,990千円</p> <p>入館者数 1,525人 (大人1,202人、高校生以下323人)</p> <p>①資料収集 寄贈 16件279点/借用 10件361点 寄託 0件0点/移管 2件4点</p> <p>②図書類の受入 図書 87冊/館報類 19機関</p> <p>③収蔵資料や展示・保存場所の虫害防除作業 1回 6月</p> <p>④展示室・収蔵庫の環境調査 1回 10月</p> <p>⑤収蔵資料の点検・整理</p> <p>⑥市指定文化財・加藤家文書 電子データ化</p> <p>⑦企画展等 観覧者数 318人 『ハマケン』と羽高地歴部の発掘記 －高校生が掘った羽咋－ (9/1～10/10)</p> <p>⑧展示協力 観覧者数 415人 「羽咋の能登獅子－羽咋で能登獅子を考える－」(2/1～2/28)</p> <p>⑨維持管理 ・設備管理、電気保安管理、清掃、警備委託</p> <p>⑩施設改修工事、修繕 ・資料館照明LED化改修工事 12,175千円(設計・監理委託料含む) ・移動式展示ケースのLED化修繕 ・玄関手すり設置工事 704千円 ・トイレ洋式化・手洗い自動水洗化工事 1,377千円</p>	<p>郷土の歴史や文化を継承していくための資料収集などを実施し、保存活用にも活かしている。</p> <p>また、館内の照明がすべてLED化され、展示環境が大いに改善された。玄関正面の階段及びスロープ部分に手すりを設置するなど高齢者や障がい者への配慮も行われている。</p> <p>ボランティアの協力による資料の整理も進み、展示・講座等で活用している。今後は資料の公開についても検討してほしい。</p> <p>市民からの要望も多様化していると思うが、対処の努力を続けてほしい。</p> <p>施設の老朽化については、計画性をもって早急に実施してほしい。</p> <p>今後も企画展等の充実や資料館の環境改善と合わせて、収蔵資料の適切な整理・保存と活用に向けて、郷土史の調査・研究に基づく資料収集を継続的に実施してほしい。</p>
<p>施策2 文化を育む環境づくり</p>	<p>1 文化を支える人材育成と支援</p>	<p>文化祭開催事業</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>日頃の芸術文化活動の研修成果を公共の場で一同に発表展示し、心豊かな人が育つ文化の香りあふれる場を市民に提供する。</p>	<p>966千円</p> <p>①初夏を彩る文化祭 開催日：令和4年6月9日～13日 参加団体：8、参観者数：約1,700人 会場：コスモアイル羽咋他</p> <p>②文化祭 開催日：令和4年11月2日～3日、6日 参加団体：20、参観者数：約3,000人 会場：羽咋体育館・コスモアイル羽咋他</p>	<p>文化団体の発表機会を持つことで、市民の文化に関する関心を高めることに貢献している。</p> <p>年ごとにテーマ性を持たせたり、会場の配置を工夫したり、市民参加を促す事業を取り入れるなど、継続して改善を行い、来客者の増加に努めてほしい。</p>

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策2 文化を支える人材育成と支援 文化を育む環境づくり	1	芸術文化振興事業	生涯学習課	自衛隊演奏会、スクールシニア等を通じて、市民や小中学生に本格的な芸術鑑賞の場を提供する。	1,045千円 ①第27回自衛隊定期演奏会 開催日 令和4年9月10日 入場料 無料 来場者 一般市民525人 ②芸術鑑賞推進事業 開催日 令和4年6月20日 内 容 オーケストラ鑑賞 オーケストラ・アンサンブル金沢 対象者 市内中学生 449人	自衛隊定期演奏会や芸術鑑賞は、市民の音楽文化の醸成や、児童生徒の情操教育充実に寄与している。 今後は、市民が安価な入場料で鑑賞できる演奏会開催のため、(一財)自治総合センター等が行う文化公演事業を積極的に活用してほしい。
		折口文学普及推進事業(市民公開講座)	生涯学習課	折口文学について市民公開講座(講演会)を開催し、郷土にゆかりの深い文学者の市民理解を深める。	262千円 ①記念短歌大会 誌上大会として開催 ②市民公開講座 開催日:令和4年9月3日 内容:折口文学の普及推進 講師:國學院大學 教授 小川直之氏 会場:コスモアイル羽咋小ホール	郷土にゆかりの深い折口信夫の講座を開催し、文化の向上に寄与している。 今後は、折口文学へのさらなる理解を促進するため、市保存会や國學院大學と連携し、講師の選定や講座のあり方を検討してほしい。
	2	市民外国語講座開催事業	生涯学習課	外国語講座をとおして外国語を話せる人を増やし、市民の国際交流の意識を高める。	0千円 ①英語講座 (内容) 回数 年間40回 内容 初級～上級 講師 市内在住の英語を母国語とする外国人 ②中国語講座 (内容) 回数 年間20回 内容 初級・中級 講師 在日中国人、日中友好協会会員	外国語講座を気軽に受講できる機会を提供することで、外国語に慣れ親しむとともに、国際交流意識を高めている。 今後も、市広報やホームページ、地区公民館だより等を活用し受講者の拡大を図ってほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策2 文化を育む環境づくり	2 多文化共生の地域づくり	国際交流推進事業	生涯学習課	市民の国際社会への理解と関心を高めるため、外国人留学生をホストファミリーに受け入れてもらい、文化の交流を図る。	23千円 ①ジャパンテント(世界留学生交流)通常事業 中止 実施期間 令和4年8月18日(工芸体験:金沢市) ②ふれあいにほんごひろば(宝達志水町共催) 毎月2回日本語サポーターによる外国人に対する日本語指導参加サポーター 9人 ③外国人コミュニティリーダー研修(主催 石川県国際交流協会 共催 宝達志水町) 11月5回開催 日本社会と外国人住民をつなぐコミュニティリーダーを養成。 参加 外国人2名 日本人2名	ジャパンテントでは、外国人留学生を市内の家庭に受け入れてもらい、文化の交流が図られている。 今後は、ホストファミリーが固定化しないよう広く周知し、異文化交流に市民が関心を持つよう広く周知してほしい。ジャパンテントは事業内容や開催期間のわりに、開催委員会への負担金が多いことなど問題も見受けられることから、開催委員会へ経費削減等の要望をしてほしい。
	1 生涯活躍できるまちづくり	コミュニティ助成事業	生涯学習課	地域のコミュニティ活動備品の整備を行い地域活動の充実と強化を図る。	5,000千円 ①滝町 2,500千円 祭礼用具の整備 ②一ノ宮町 2,500千円 祭礼用具の整備	祭礼用具などの整備により、助成対象地域で活発なコミュニティ活動が進められている。 助成を要望している町会が多く、整備までに歳月を要することから、県に対して助成件数の拡大を要望してほしい。
施策3 全世代活躍のまちづくりの推進	2 男女がともに活躍できるまちづくり	DV対策事業	生涯学習課	配偶者からの暴力に係る通報、相談、保障、自立支援等の体制を整備することにより、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図る。	0千円 ①相談業務(電話・来所) 相談内容により、一時保護が必要な場合は、県女性相談支援センターへ引き継ぐ。 ・女性支援ダイヤル(22-7830) ・県DVホットライン(076-221-8740) ②パープルリボンキャンペーンの実施	経験豊富な職員が、県の担当者と情報を共有し、連携して進めている。 DVは深刻な問題であり、一旦発生すれば専門的な知識、経験が必要とされることが多いため、専門員の配置を含め、女性ダイヤルの市民への周知を徹底し、気軽に相談できる体制づくりを進めてほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
<p>施策3 全世代活躍のまちづくりの推進</p>	<p>2 男女がともに活躍できるまちづくり</p>	<p>女性教育推進事業</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>女性の社会参加と教養を高め、地位向上に努める。また、新しい女性団体の育成を図る。</p>	<p>99千円 ①各種女性団体連絡協議会活動補助 ②女性学習会の開催(各女連と共催) 「市長と語る輝く未来」 ③研修視察 中止 ④女性県政会議参加</p>	<p>コロナ禍でほぼ全ての事業が中止になるとともに、各種女性団体連絡協議会が解散となった。 今後は、引き続き市内女性団体の活動を支援したり、連携を図ることで、地域社会の発展に寄与できる女性団体の育成が望まれる。</p>
		<p>男女共同参画推進事業</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる男女共同社会の実現を図る。</p>	<p>103千円 推進状況報告書の作成 羽咋市立図書館と共催で、男女共同参画関連の図書企画展「もやっといえいえジェンダー展」開催 「もやっといえいえ」の募集、掲示</p>	<p>法律や制度は着実に整備されており、啓発等事業の推進により、男女共同参画に対する認識は徐々に浸透していると思われる。 今後も「羽咋市男女が共に輝くまちづくり」第5次プランの推進を図ってほしい。</p>

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
<p>施策4 学校教育の充実</p>	<p>1 教育環境の整備・充実</p>	<p>小中学校施設維持管理事業</p>	<p>学校教育課</p>	<p>小中学校施設の効率的な維持管理を行い、常に良好な教育環境を保つ。</p>	<p>小) 68,751千円 中) 30,321千円</p> <p>西北台小学校床張替工事 工事請負費 1,815千円 羽咋小学校FF式暖房機更新工事 工事請負費 921千円 羽咋中学校エアコン更新工事 工事請負費 1,357千円</p> <p>防災・施設設備等の修繕 水質検査等の定期検査 学校営繕、警備、清掃、電気保安管理、防災空調点検等の委託 光熱水費、会計年度任用職員報酬 ほか</p>	<p>学校施設の効率的な維持管理が行われている。今後も、感染症予防及び熱中症対策を継続して行ってほしい。</p> <p>法適合を確認し、良好な教育環境が保たれるよう効率的な運用に留意してほしい。今後も市学校施設長寿命化計画に基づいた施設改修を進めながら、経費削減にも取り組み、きめ細かな管理運営を行ってほしい。</p>
		<p>小中学校施設整備事業</p>	<p>学校教育課</p>	<p>小中学校教育の充実を図るため、小中学校施設の整備・充実を図る。</p>	<p>小) 12,215千円 中) 32,446千円</p> <p>小学校電話設備更新工事 工事請負費 2,376千円 羽咋小学校校内放送設備更新工事 工事請負費 4,497千円 邑知中学校特別教室空調設備整備工事 工事請負費 29,096千円</p>	<p>中学校校舎棟の空調設備工事が完了したことについては、評価できる。</p> <p>今後も、緊急度が高い設備、更新時期を迎えるものを適宜行い、教育環境の整備にも努めてほしい。</p>
		<p>小中学校運営事業</p>	<p>学校教育課</p>	<p>小中学校に事務的経費を配分し、適正な学校運営の向上と学校教育の充実を図る。</p>	<p>小) 15,675千円 中) 8,844千円</p> <p>事務用品、電話料、コピー使用料、通知表印刷や賞状印刷、ピアノ調律など必要経費を学校に配分し、学校運営に充てている。</p> <p>備品については、 羽咋小学校 ハンドル身長計 栗ノ保小学校 空気清浄機 瑞穂小学校 シュレッダー 西北台小学校 片袖机 邑知小学校 物置 羽咋中学校 紙折り機 邑知中学校 ファイルワゴン など購入</p>	<p>必要な経費を学校に配分することにより、各校は予算の範囲内でやりくりし円滑な学校運営に努めている。</p> <p>既に各校の経費抑制は進んでいるようであるが、今後も引き続き、知恵を出し合い、学校教育の充実を図りながら経費の節約に努めてほしい。</p>

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策4 学校教育の充実	1 教育環境の整備・充実	小中学校教材整備事業(理科備品業務を含む)	学校教育課	各小中学校の教育目標や教育内容を充実させるため、教材の補充、更新を実施する。	小) 4, 584千円 中) 914千円 ①児童生徒用義務教材(事務・電気製品・楽器・体育用品等)を一括購入 ②各小中学校にChromebookを購入 ③羽咋小iPadをはじめ、西北台小デジタル教科書、羽咋中電子ピアノ など購入	教材備品整備により教育内容の充実が図られている。今後も一人1台端末を最大限に活用し、ICT教育の充実に努めてほしい。
		小中学校図書館充実事業	学校教育課	全小中学校の図書館に司書等を配置し、児童生徒の読書機会の充実と読書意欲の喚起を図る。	小) 11, 061千円 図書館司書(会計年度)2名 図書館事務員(会計年度)4名 図書購入費 1,494千円 消耗品費等 312千円 中) 1, 883千円 図書館事務員(会計年度)1名 図書購入費 350千円 消耗品費等 101千円	児童生徒が読書に親しむための環境整備が図られている。全8校で7名の図書館司書・事務員の配置ではなく、1校に1名の配置が必要。図書館事務員と協力し、児童生徒が図書に親しみ、利用しやすい学校図書館になるよう整備に努められたい。電子図書の導入により一層の読書の機会を設けてもらいたい。
		中学校部活動支援事業	学校教育課	中学校部活動推進のため、各種大会参加費の補助を行うことにより、生徒の健全育成を図る。	5, 703千円 ①中学校体育連盟補助金 5,349千円 ②中学校吹奏楽コンクール派遣費補助金 114千円 ③報酬(クラブ講師4名) 240千円	各種大会参加費及び遠征費の一部を補助することにより、保護者の負担を軽減し、部活動を通して、生徒の交流及び団結力が養われた。今後も適正な配分により、継続的に実施してほしい。
		教育活性化プラン支援事業	学校教育課	市内全校で教育活性化プランを作成し、教職員の意識と資質の向上、教育活動の質の向上、地域に開かれた学校づくり等の取組を推進することにより、特色ある学校づくりを進める。	2, 800千円 ①教育活性化プラン 実施計画書の作成(全小中学校(8校)) 教育委員会によるヒアリングの実施 (R4.6.2) 報告書の作成及び報告会の開催 (R5.2.16) ②学校目標一覧の作成 (市のホームページに掲載)	数値目標を取り入れたプランに基づき、全教職員の共通理解のもと教育活動を行うことで、各学校の教育活動の活性化が図られている。引き続き、社会の変化や要請に応じながら、市の重点施策を意識したプランになるよう努めてほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策4 学校教育の充実	2 学校教育の指導指針の推進	市教育研究会補助事業	学校教育課	教育研究を行う市教育研究会に補助金を交付してその活動を支援し、教育力の向上を図る。	481千円 ①教科部会(11部会) ②特別教育部会(7部会) ③実践発表 ④体育文化事業(文集、科学研究物、水泳記録会(各学校)、音楽会、読書感想文・感想画)	ICT端末を活用した授業実践の市全体での取り組みにより、教職員の資質・指導力の向上、児童生徒の生き生きとした活動の創出に成果が見られた。 業務改善の視点を取り入れながら、今後の事業展開をより効率的に実施できるよう努めてほしい。
		市指定研究委託事業	学校教育課	研究校を指定し教育研究を推進することにより、学校教育の充実を図る。	400千円 ①余喜小学校 研究主題 「深い学びを可能にするよきっ子を目指して」～自分の考えをもち、学びのIdobata Cross Talkを通して～ 研究発表(R4.7.7) ②粟ノ保小学校 研究主題 「論理的に考え、表現する児童の育成」～ICTの活用で豊かな対話！～ 研究発表(R4.10.14)	ICTを活用した授業実践の成果・課題の市全体への発信により、教職員の資質・指導力の向上につながった。 児童生徒が自ら学ぶ力をつけるとともに、ICTを活用した授業を意識した授業改善に努め、学校教育の充実を図ってほしい。
		特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	特別支援教育支援員を配置することにより、特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う。	小) 35,643千円 中) 8,164千円 小学校6校に18名、中学校2校に3名の学校支援員を配置	支援員の配置により、適切な支援が行われており、安定した授業ができる等一定の成果が得られている。 近年、支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあるため、より良い人材確保と適切な人員配置に努められたい。
		小中学校通学援助事業	学校教育課	スクールバス等の運行により、遠距離通学となる児童生徒の通学援助を行う。	小) 17,461千円 中) 18,073千円 遠距離通学する児童生徒のため、小学校は3台のスクールバス(瑞穂小2台、邑知小1台)を運行。羽咋中学校に一ノ宮・上甘田地区・鹿島時地区にスクールバス(3台)を運行 その他、バス・自転車通学補助、冬季にはタクシー運行を行った。 邑知小中スクールバス 2台 備品購入費 18,447千円	邑知小・余喜小の統合にあわせて、余喜地区の中学生へのスクールバス運行を新設するなど、遠距離通学をする生徒の保護者の負担軽減に取り組まれている。 スクールバスの安全運行を徹底するには運転手の指導が重要であり、同時に責任体制を明確にしてほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策4 学校教育の充実	2 学校教育の指導指針の推進	基礎学力向上プラン事業	学校教育課	学力調査の分析結果をもとに児童生徒一人ひとりの学習の問題点を洗い出し、教科毎の弱点を克服するためのきめ細かな指導を行いながら、基礎学力の定着と向上を図る。	1,110千円 ①学力調査の活用 指導法の改善 補充・発展学習の実施 ②学力調査の実施 (小学校:R5.1.12 中学校:R5.1.12~13) 小1~中2で実施 小学校1年~4年 国語・算数 小学校5年~6年 国語・算数・理科・社会 中学校1年~2年 国語・数学・理科・社会・英語	学力定着の状況を把握し、指導法を改善したり、補充学習を行うことにより、基礎学力の向上が図られている。 その結果として、全国及び県内の平均を上回り、全国トップクラスの学力を有することは成果として評価できる。 全ての児童生徒を取り残すことがないようICTを活用して、個々に応じた「個別最適な学び」を推進してほしい。
		各種研修事業	学校教育課	各種研修会・講座を開催し、学校が組織的に機能するため、教職員の連携を図り、資質を高める。	0千円 ①若手教師研修会(R4.8.1、R4.8.19) ②主任研修会(R4.7.26、R5.1.5) ③外国語担当者研修(R4.6.6、R4.6.17) ④中堅教師研修(R4.8.1、R4.8.3) ⑤HAKUISM研修会(通年)	時代の要請に応じた研修を適宜設定する中で、指導力向上に努めている。 「ICT活用の指導指針」の活用により、市全体で共通した取り組みを進めるとともに、中堅やベテラン教職員が築いたノウハウの継承をスムーズに行ってほしい。
		羽咋市PTA連合会補助事業	学校教育課	市内小中学校PTA相互の連携を図り、家庭と地域の教育力の活性化を推進する。	100千円 ①代表委員会 (R4.4.16、R4.7.23、R5.2.18) ・第3回代表委員会において、東大セミナーを講師として保護者向け講演会「東大生の親御さんに共通する家庭のルールとは？」を実施した。 ②市PTA連合会指定研究発表会 (余喜小 R4.9.25)	PTAを核として「学校・家庭・地域が協働する“子育て共同体”づくり」の推進が図られている。 今後も、家庭・地域の教育力の活性化を進めていくために保護者向け講演会の実施を引き続き検討してほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施策4 学校教育の充実</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 学校教育の指導指針の推進</p>	いじめ・不登校対策充実事業	学校教育課	<p>規範意識と人への思いやりにあふれた児童・生徒を育てるとともに、いじめや不登校等のない児童生徒が楽しく学べる学校をつくる。</p>	<p>0千円</p> <p>①いじめ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを見逃さない学校推進事業を中心の取組 ・アンケートの実施(各学期に1回以上)による実態把握と早期発見 ・いじめ問題対策チームによる早期対応、未然防止対応 <p>②不登校対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主事、生徒指導担当教員を中心とした組織的対応 ・スクールカウンセラーとの連携 ・スクールソーシャルワーカーとの連携 ・旧余喜小校舎を活用した適応指導教室の開設の検討 	<p>各学校の組織的対応により、いじめ・不登校の未然防止に効果が見られる。</p> <p>今後も担任や生徒指導主事が中心となり、学校組織全体で早期発見・早期対応に努めてほしい。</p> <p>特にいじめは、家庭教育の在り方に大きな関わりがあることから、家庭への理解の促進を図ってほしい。</p> <p>また、適応指導教室が不登校児童生徒の居場所となるよう、その在り方について十分に検討した上で開設してほしい。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 学校教育の充実</p>	学校評価実施事業	学校教育課	<p>学校運営について、保護者や地域住民の意見を幅広く聴き、開かれた特色ある学校づくりを推進する。</p>	<p>220千円</p> <p>①学校運営について目標を設定し、その設定状況を把握・整理して、改善を図る。</p> <p>②学校が自己評価や学校関係者評価の実施と結果の説明・公表を行なう。</p> <p>③学校設置者等が、評価の結果に応じて必要な措置を講じて、その向上を図る。</p> <p>※学校評議員44人</p>	<p>自己評価や学校関係者評価を受けることにより、地域・保護者・学校が融和した「開かれた学校づくり」「特色ある学校づくり」の推進が図られている。</p> <p>今後は、取り組みと評価の整合性を図りながら、より良い学校づくりに生かしてほしい。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 英語教育の推進</p>	外国語教育推進事業	学校教育課	<p>児童生徒が今後のグローバル社会に対応できるように、ALT(外国語指導助手)の適正な配置に努めるとともに、英語検定の支援、中学生の海外派遣を検討することにより、英語によるコミュニケーション能力の育成及び国際理解の推進に努める。</p>	<p>18,024千円</p> <p>①外国語指導助手4名を配置し小中学校へ派遣。</p> <p>A助手:羽咋小、羽咋中 B助手: 邑知小、邑知中 C助手: 西北台小、余喜小 D助手: 粟ノ保小、瑞穂小</p> <p>②英語検定受験料の1/2を、試験の可否に関わらず助成 中学生:年2回分を助成 小学生:年1回分を助成</p> <p>中学3年の英検3級以上取得率:55.9%</p>	<p>ALT4名の配置及び英語検定受験料の支援により、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成及び異文化理解を深める成果が見られた。</p> <p>今後もALTの適正な配置に努め、より一層英語に親しむ環境整備を整え、英語教育の充実を図ってほしい。</p>

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策4 学校教育の充実	4 学校給食の充実	学校給食施設管理運営事業	学校教育課	児童生徒が学校給食を通して望ましい食習慣を養い、心身ともに健康な生活を実践できる力を育み、「食」について正しい理解を深める。	74,397千円 ①給食実施状況(一日あたりの食数) 小学校938食 中学校473食 計1,411食 ②給食食材の地産地消の推進 令和4年度 21品目を使用 ③アレルギー対応食の実施 対応食の内容は原因となる食物を除去又は代替りのものを提供。 ※令和4年度対象者39人 ④共同調理場蒸気ボイラー入替工事 工事費等 9,988千円	バランスのとれた栄養のある給食の提供により児童生徒の健やかな成長が図られた。食育を通じて「食」に対する正しい理解を深め、望ましい食習慣を養っている。また、地産地消の推進、アレルギー対応食も継続して実施してほしい。 施設の大規模改修や設備・調理機器等の更新については、財政状況等を勘案しながら計画的に実施してほしい。
	4 学校給食の充実	学校給食管理事業	学校教育課	市内小中学校の第3子以降の児童生徒及び中学2・3年生の学校給食費を無償化を行い、子育て支援を図る。	16,419千円 ①第3子以降対象人数:137人 ②中学2・3年生 人数:302人	少子化が進む中で、学校給食費の無償化の拡充は、子育て支援策として、有効であった。 今後も保護者の経済的負担の軽減に努めてほしい。
施策5 次世代を担う青少年の育成	1 青少年健全育成活動の推進	青年教育推進事業(青少年の健全育成)	生涯学習課	市内在住及び在勤、在学している青年の活動を推進し、地域社会の発展を図る。	483千円 ①成人式開催事業 令和5年1月8日 当日出席者数145人 実行委員会の組織 委員12名 実行委員会の開催(8回) ②青年リーダーの養成 市青年団協議会の活動支援及び連携 青年層のネットワークづくり	成人式を新成人自らの手で企画運営する実行委員会では親睦を深めるだけでなく、若者の実践する力を養う機会となっている。 青年団活動を支援し、青年の交流の場を提供するとともに、青年層が地域社会の発展に寄与できる仕組みを整えてほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策5 次世代を担う青少年の育成	1 青少年健全育成活動の推進	少年教育推進事業(青少年の健全育成)	生涯学習課	子ども会活動の支援、各種少年対象事業の実施により少年の文化・スポーツの向上と心身ともに健康な少年を育成する。	131千円 ①子ども会育成会活動事業 ・自然体験事業1回(低学年立山登山) ・文化事業1回 (高学年・永光寺 親子お寺体験) ・スポーツ事業1回(なわとび教室) ・親子ドローン体験1回 ②少年少女発明クラブ運営費補助事業(年12回)	これまで各種スポーツ事業により心身の育成、他校との交流を行ってきたが、コロナ禍の影響や担い手不足により今回は中止となった。 地域間の連携強化を図りながら事業を実施するとともに、少年育成に関わる指導者の養成、発掘に力を入れてほしい。 また、個々の事業については、その必要性を検討してほしい。
		少年育成センター事業	生涯学習課	青少年の健全育成を推進するとともに、健やかな家庭づくりと健全な社会づくりのために家庭教育を推進する。		青少年の健全育成及び非行防止に成果が見られる。 今後は、情報を共有し、学校や地域間との協力体制を構築しながら、健やかな家庭づくりと、健全な社会づくりに努めてほしい。
	2 家庭教育の健全化	家庭教育推進事業	生涯学習課	市民憲章実践活動の一環として、市民ぐるみで、家庭における教育力の高揚を図り、青少年の健全育成を推進する。	155千円 家庭教育推進協議会 ①家庭教育支援部会 家庭教育情報紙第1号～第3号の発行(5,100部) CAP講演会を市内3保育所(園)で開催 ②乳幼児部会 親子ふれあいアルバム・羽咋市ふれあい読書・子育て標語 ③児童部会 家族川柳・羽咋市ふれあい読書・家族ふれあいカード ④生徒部会 家族川柳・家族ふれあいカード・挨拶運動及び啓発カード入りポケットティッシュ配布	「家庭教育情報紙」の発行など各事業により「家庭教育推進協議会」の活動内容の浸透が図られている。 今後も、子どもの発達段階にあわせた「親子のふれあい事業」などを通じて、家庭教育の充実を図ってほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策6 教養や生きがい、 健康維持の土台づくり	1	公民館活動事業	生涯学習課	各種教室、講座やスポーツ活動を幅広く開催し、生涯学習の推進と健康で心豊かな生活づくりを進める。	2,307千円 新型コロナウイルス感染症の流行から3年目となり、感染対策を行いながら、開催規模や方法を見直しながら活動やイベントが実施された。 R4年度 主な行事等 市民駅伝祭 千里浜町民文化祭 粟ノ保納涼祭 呂知歴史道 健康ウォーク 余喜地区社会体育大会 一ノ宮地区町民文化祭 レクリエーション大会	コロナ禍で、感染対策を行い、開催内容や規模、方法を見直しながら活動する工夫が見られた。 新型コロナウイルス感染症も5類になったことから、感染には今後も注意したうえで、公民館活動を活性化させる取り組みをしてほしい。 地域コミュニティの維持や発展には交流が重要であり、世代を超えて交流できる事業やイベントの実施と、特に高齢者の情報技術活用に役立つ講座の開催など、持続可能な地域づくりに資する事業を推進してほしい。
	2	生涯スポーツ活動事業	生涯学習課	生涯スポーツの普及振興を図る。	32千円 ①新体力テスト記録会は実施 ニュースポーツ大会、ソフトバレーボール大会、健康クラブのスポーツ大会、その他スポーツ大会 中止 ②50日運動を実践し、県の302運動とリンクして市民にスポーツ活動を奨励 ③スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ少年団指導者へ謝金の交付	コロナ禍で多くの事業を実施できなかったが、今後は、各種スポーツ大会などを開催し、健康寿命の延伸につながるよう、年齢層や地域性にこだわらず、幅広く生涯スポーツ及びニュースポーツの普及を図るとともに、開催の工夫等、継続して改善を行ってほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策6 教養や生きがい、健康維持の土台づくり	2	スポーツ団体運営支援事業	生涯学習課	ビーチバレーボール大会等の継続開催と体育協会やスポーツ少年団の運営支援を行い、競技力の向上と底辺拡大を図る。	7,380千円 ①ビーチバレーボール大会開催補助 開催日 令和4年7月23日、24日 参加チーム数 一般28、高校生18 ミックス8、ママさん4 ②体育協会運営費補助 県体派遣、スポーツ少年団運営費 種目協会32、地区協会10 ③第7回峨山道トレイルラン開催補助 開催日 令和4年10月15日 ・クラシカル 73km エントリー数 352人 (男性303人 女性49人) 出走者数 314人 (男性278人 女性36人) ・ミドルコース 25km エントリー数 129人 (男性96人 女性33人) 出走者数 115人 (男性85人 女性30人)	コロナ禍において感染対策等の工夫を図り、各事業が実施された。 体育協会やスポーツ少年団はスポーツ振興の中心的存在ではあるが、少子高齢化により加盟団体の弱小化に対応する必要がある。 ビーチバレーボール大会や峨山道トレイルランは市外からの参加者が多く、コロナ禍における開催の工夫をし、安全で安心な大会になるよう努めてほしい。
		市民体育大会開催事業	生涯学習課	広く市民に体育・スポーツを普及し、スポーツ精神を高揚するとともに健康の保持増進を図る。	0千円 中止	コロナ禍で事業を実施できなかったが、本大会は県内では少なくなった地区対抗方式であり、地域の活性化やコミュニケーションが図られている。 一方、地区によっては不参加競技の種目が多く、大会要項や競技内容などを検討してほしい。
		市民駅伝祭開催事業	生涯学習課	国民の祝日である「体育の日」に健脚を競い、体力の向上と健康の保持増進に努める。	162千円 開催日 令和4年10月9日 参加数 地区対抗(6名×9地区) 小学生対抗 中止 グループ対抗(4名×14チーム) コース 羽咋運動公園周辺約2.1キロ	コロナ禍において感染対策等の工夫や規模を縮小して実施された。 今後は、地区対抗の参加地区の減少対策が必要である。また、コロナウイルス感染拡大防止を含め、参加者・観戦者の安全を確保してほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策6 教養や生きがい、健康維持の土台づくり	2 生涯・競技スポーツの推進	各種スポーツ大会参加運営支援事業	生涯学習課	各種大会の参加支援を行う。また、地元スポーツ大会開催の支援を行う。	902千円 ①各種スポーツ大会に参加する派遣費の支援 ②地元開催のスポーツ大会の運営支援 市民ゴルフ大会 唐戸山相撲場での相撲大会開催支援	唐戸山相撲場での相撲大会は、伝統があり継続するに値する。各種大会の参加支援もスポーツ振興につながっている。 派遣費の支援は、競技力の向上・青少年の健全育成等につながるため、継続してほしい。
	3 施設の整備・維持管理	公民館運営事業	生涯学習課	地域の生涯学習拠点として、効果的な公民館施設の運営維持管理を行う。	29,954千円 ①公民館施設の維持管理にかかる委託業務 ②運営に必要な事務消耗品等の購入 ③通信費や保険料 ④施設の修繕 ⑤公民館用地の賃借料 ⑥大会参加費や負担金等 (明許繰越分) 7,322千円 ⑦羽咋公民館一部床改修 ⑧鹿島路公民館多目的ホール照明LED化 ⑨千里浜公民館大ホール等照明LED化 脱炭素社会の実現に向け、製造が禁止された水銀灯照明を長寿命、低消費電力のLED照明器具に改修することで、環境負荷とランニングコストの低減を図る。	生涯学習の拠点として、利便性が高く快適に利用できる運営がなされている。 今後も緊急性、社会的要請、費用対効果などを考慮しながら優先順位をつけて、整備を進めてほしい。 また、ハード面だけではなく、ソフト面でも、地域が望む利用方法に柔軟に対応するなど、施設の利活用を推進することで、多くの人が集い、社会教育と地域コミュニティが併せて発展し、持続可能な地域づくりへとつなげてほしい。
		コスモアイル羽咋運営事業	生涯学習課	市民の生涯学習拠点施設として、効率的、効果的な運営維持管理を行う。	79,432千円 ①指定管理者 (有)プロジェクト.ドゥ 期間:令和4年4月1日～令和9年3月31日 指定管理者に運営管理を委託し、効果的な運営と利用時間等で住民の便宜を考慮した業務がなされるよう注意している。 また、改修工事では、事務室空調機更新工事、屋上防水改修工事、舞台屋上防水改修工事、ヒートポンプチャラーユニット修繕工事、大ホールワイヤレスマイク装置更新工事などを行った。	指定管理制度導入による経費節減効果が見られ、コロナ禍であっても影響を最小限に抑えている。利用者へのサービスも行き届いているようである。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、サービスの低下を招かないよう、指定管理者を指導してもらいたい。 また、施設改修について公共施設個別施設計画を基に計画的に進めてほしい。

◎令和4年度 羽咋市教育委員会点検・評価シート

大項目	中項目	事業名	担当課(室)	趣 旨	決算額・事業内容・実施状況等	委員評価
施策6 教養や生きがい、健康維持の土台づくり	3 施設の整備・維持管理	図書館運営事業	生涯学習課	市民の施設として、安全、安心な施設維持と利用者の希望に沿った図書の充実を図る。	26,602千円 ①指定管理者 (有)プロジェクト.ドゥ 期間:令和4年4月1日～令和9年3月31日 指定管理者に運営管理を委託し、効果的な運営と利用時間等で住民の便宜を考慮した業務がなされるよう注意した。 ②子ども読書活動の推進	指定管理制度導入による経費節減効果が見られる。今後も、新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、サービスの低下を招かないよう、指定管理者を指導してもらいたい。
		体育施設整備事業	生涯学習課	安心して利用できる体育施設の整備を図る。	26,939千円 羽咋市民体育館外壁改修工事 羽咋運動公園弓道場照明器具取替工事を実施	老朽化が進む施設が多い中、計画的に整備を行っている。今後も安全・安心に利用できる施設整備の推進を図り、利用者の利便性の向上に努めてほしい。
		体育施設維持管理事業	生涯学習課	効率的な体育施設の維持管理を行い、サービスの向上を図る。	51,259千円 ①11施設の建物共済、用地賃借料、施設協会負担金 ②光熱水費や委託料等11施設の維持管理事業 ③羽咋市武道館排煙窓取替工事、神子原スポーツセンター火災感知器取替工事、羽咋体育館照明器具更新工事等	効率的で低コスト運営と市民サービスの向上が図られている。今後は、指定管理者制度の導入も視野に入れながら、効率的な体育施設の維持管理方法を検討してほしい。
		ユーフォリア千里浜管理運営事業	生涯学習課	温泉保養施設を設置し、市民の健康増進及び体力の向上を図る。	76,809千円 ①指定管理者 (有)プロジェクト.ドゥ 期間:平成31年4月1日～令和6年3月31日 指定管理者として(有)プロジェクトドゥが管理運営を行っている。コロナウイルス感染症の影響で年間利用者数は減少し、浴場、プール、スイミング教室等で年間169,959人が利用 ②源泉井戸改修工事、浴室及びプール内床滑り止め補修工事、空調用チラー・昇温用チラー・ヒートポンプチラー取替工事、給湯用配管取替工事及び設備長寿命化計画策定業務	指定管理者制度導入によりサービスの向上と経費の削減が図られている。施設設備については、老朽化対策に苦慮しているようだが、優先順位をつけ計画的に修繕を進めてほしい。また、コロナ禍で利用者が減少したが、今後も、適切な管理運営と更なるサービスの向上を図り利用者の確保をしてほしい。